

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
 事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
 お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

【児童・生徒の教育相談】

- * 相談日・時間
土・日曜日及び祝日を除く毎日
AM9:00～PM5:00
- * 場 所
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105（直通）
(秘密厳守)

【青少年の生活相談】

- * 相談日・時間
原則として月・水・金曜日とします
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- * 場 所
千曲市役所 戸倉庁舎 3階
少年育成センター（生涯学習課内）
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）
(秘密厳守)

今月の家庭の日 4月21日（日）

新しい年度の始まりにあたり、家族そろって食事をとりながら、互いの学校や職場の様子について語り合い、充実した年度になるようにしましょう。

メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

[E-mail : youth@city.chikuma.lg.jp](mailto:youth@city.chikuma.lg.jp)

相談員がメールでお答えします。
(秘密厳守)

待合室でのできごとより

千曲市教育委員 宮入 文雄

病院の待合室のできごとから感じたことです。

病院へ行って受付を済ませ、待合室で診察を待っている時、看護師さんが「〇〇さん」と名前を呼びました。呼ばれた人は、四〇歳ぐらいの男の人でしたが、新聞を読んでいて返事をしないでずっと立って、そのまま診察室の中へ入って行きました。

しばらくして、「〇〇さん」と別の人が呼ばれました。その人は大きな声で、「はい」と返事をして立ち上がりました。六〇歳ぐらいの男の人でした。その人は診察室へ入る時、「失礼します」と言って入って行きました。診察が終わって出てくる時も、「ありがとうございます」と挨拶をしているのが聞こえてきました。

しばらくして、私が看護師さんに呼ばれた時に、二人の様子を思っただけで、私が考えたので、「はい」と返事をしたつもりでしたが、あまり大きな声ではなかったのか、もう一度名前を呼ばれてしまいました。

この「はい」という言葉は簡単でありながら、なかなか言えないものだと思います。他人から呼ばれた時に、元気のよい「はい」の一言で相手に良い感じを与えたり、自分でもすがすがしい気持ちになったりするものです。

子どもが「お母さん」と呼んだ時に、お母さんが返事をしてくれないと、お母さんの機嫌が悪いのかな、体の具合でも悪いのかなと思っただけで心配したり、いやな気持ちになったりするのはないでしょうか。

「はい」という言葉は、心が通じ合う美しい言葉であると思います。そして、相手を大切にすると、認め合う、信じてもらう、感謝されるなど、相手とのコミュニケーションにもつながる第一歩であると思います。

美しい言葉は、美しい心を育てることにつながります

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— 声掛けて地域がつながる増す安全 —

～ 3月の定例補導委員会議より～

3月1日に、定例補導委員会議が開催され、以下の事項等について協議・連絡をおこないました。

1. 千曲警察署生活安全課より

不審者・声かけ事案は1、2月が多い。千曲署管内5件。3、4、5月は年度末や新年度を迎え、大人が街頭に出て注意を払っているのが少なくなる。その後、少し増える傾向がある。

2. 平成30年度のアンケート結果報告：次年度に生かす

3. 1・2月の補導活動を振り返って

・声かけにより子どもたちとふれあえる嬉しさ ・青パトの不審者出沒への抑止力 など

4. 3月以降の補導日程について

3月：通常補導 4日～：午後3時～5時、PTAとの合同補導 18日～：午後3時～5時

4月：補導委員の学校訪問 15日～：午後3時～5時30分 選出地区の小学校と中学校へ
通常補導 19日～：午後4時～6時 更埴地区は四人一組で巡回を実施

5月：通常補導 9日～：午後4時30分～6時30分、22日～：午後5時～7時

5. 2019年度千曲市少年補導委員会総会 4月10日(水) 午後3時から 戸倉創造館にて



補導日誌から



不審者に向けた青パト巡回

2月18日(月) 3:00pm～5:00

戸倉地区の巡回日でした。2月13日にライポくん安心メールの子供安全情報で戸倉地籍(2月11日)に不審者が出たとの情報がありましたので、現場の巡回をしました。また、以前上山田の女沢公園付近でも不審者が出ていたので、そちらの方まで巡回してみました。どちらも特に問題はありませんでした。内川公園に行ってみると、前回巡回の時も気になっていた放置自転車がまだありました。柏清水公園近くの川で、小学5・6年生男子3人がザリガニをとっていました。気をつけてと、声をかけて帰りました。

青パトは不審者出沒への抑止力

2月18日(月) 3:00pm～5:00

補導もしくは健全育成にとって心配となるような場面には遭遇しませんでした。今回も「不審者出現情報の場所」を加えて巡回パトロールをしました。はじめに駅前交番に寄ってみると、「現場までは道路が狭く、車が通れるかどうか」というお話がありました。そこで、現場までは行かず、その周辺の「栗佐北の信号」から「屋代高校」までの道路をパトロールしました。次に鋳物師地籍で不審者情報があつた地区周辺をパトロールしました。子どもの姿もなく問題と思われる状況は無かったけれど、青パトによるパトロールは不審者出沒への抑止に繋がると思いました。

この子たちを守りたい

2月20日(水) 3:00pm～5:00

二月の気候としては暖かい陽気になり、たくさんの子どもが外で遊んでいるといいなと期待をしてパトロールに出発しました。柏清水公園では、幼児1人と小学2・3年生が3人で水場に入って遊んでいました。「何を捕っているの」と声をかけると、「サワガニを捕っているの」と、カニを手にとって見せてくれました。3年生の子に、「おじさんは何しているの」と聞かれました。一瞬考えて、「変なおじさん『不審者』がいないかパトロールしているんだよ」と言うと、「フーン」と言って、サワガニ捕りに夢中になっていました。

寒いけれど無心に遊ぶ子どもたち

2月21日(木) 3:00pm~5:00

屋代小学校、須々岐水神社、高見町信号から西友へ、そして粟狭神社から屋代高校前駅、千曲衛生センターへと巡回しましたが、特に異常はありませんでした。科野の里ふれあい公園は寒いので誰もいないと思っていたのですが、小中学生12名ほどが遊んでいました。声をかけると、元気な声で返事をしてくれました。公園に来てゲームなどを行っている子どもを見かける中、無心に遊んでいる子どもを見るとホッとします。せつかくの施設なので、有意義に使ってほしいと思います。

無事に帰ってと願う

3月4日(月) 3:00pm~5:00

雨が降り続けていたため、各地に子どもたちの姿はありませんでした。上山田児童館は子どもたちがまだ来ていませんでした。職員の方の話では、インフルエンザは治まっており館として困っていることはないとのことでした。女沢公園付近で不審者が出没したことについて注意を呼びかけました。小学校では、ちょうど下校時間に当たっており、子どもたちが一斉に校舎を出て来ました。カサを差しての下校になっていたため、前を見て歩くよう声をかけたところ、元気に返事をして帰って行きました。

家族の皆様にも春が

3月6日(水) 3:00pm~5:00

寒暖の差があった一日でした。巡回途中、屋代小学校や東小学校の子どもたちが集団下校をしていました。科野の里ふれあい公園では、父子が砂遊びをする姿も見えました。屋代駅構内外に、公立高校を受験した生徒さん達が家族の迎えを待つ姿がありました。駅の駐輪場や道路に数多くの車が停車しており、通常迎えに来られた車の止める所もなく混雑していました。受験生御苦勞様でした。合格を祈っています。

帰宅時間を意識させて

3月7日(木) 3:00pm~5:00

補導の巡回路及び補導場所での異常はありませんでした。駅、公園のトイレはきれいでした。内川公園では、小学3年生の女の子2人がブランコや滑り台で遊んでいました。風邪をひかないよう呼びかけ、帰宅時間を確認させました。更埴中央公園では紅梅が少し咲き始めてはいましたが、冷たい風が吹く中、小学5年生の2人の女の子が網のジャングルジムで遊んでいました。寒いでしょうと声をかけたら寒くないとの返事、頂上目指して登って行きました。風邪をひかないよう声をかけて別れました。

編集室の窓

良くしてもらったので、私も

先輩に受けた「恩」を後輩へも…、そのスタートライン4月が始まりました。「ジュニアリーダーとして色々な千曲市の子ども会事業のお手伝いをしてほしいけど、どうですか？」という投げかけに、前向きに答えてくれた中学1年生の生徒さんがいました。

○私たちを楽しませてくれたから、その楽しさを様々な人に教えてあげたい。

○自分が手伝っていただいた分、後輩にしっかり教えたい。

○リーダー研修会で良くしてもらったので、次は私が皆を楽しませたい。

・・・「おかげさま」を感じて、後輩のためにお手伝いすると言ってくれました。

○(リーダーは)皆に楽しい企画をたくさん用意してくださったし、面白い話をしてくれた。私もその楽しさをたくさんの人に教えてあげたい。

・・・子ども会事業のとき、スタッフとして参加していたリーダー(先輩)の姿が心に残ったようです。リーダーの「恩」を感じて、私もその楽しさを後輩に伝えたい、と意欲を見せてくれました。

様々な取り組みは、多くの人々の「恩」で成り立ってきました。そのような取り組みに参加してきた子どもたちには、後輩のために一肌脱ごうとする善き心の連鎖が芽ばえています。良くしてもらったので、私も…、そんな心の連鎖、恩送り…そのスタートラインが今。

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

私の将来の夢は、美容師になることです。なぜかという、私が毎回、かみが伸びたら切りに行っている美容室があり、その美容師さんのようになりたいと思ったからです。

その美容師さんは、かみ形を色々アレンジができる人です。私もその人のように、かみ形を色々アレンジができる人になりたいと思いました。

美容師になるためには、たくさん勉強をしてたくさんのかみ形を覚えなきゃいけないそうです。でも、そのかべを乗り越え、立派な美容師になりたいです。

そして、私が美容師の夢を叶えて、家族を幸せにしてあげたいと思います。家族のためにも自分のためにも、将来、美容師になるために、私が今できることを、一生けん命がんばります。

(6年 高橋 虹)

わたしの夢は大工になることです。わたしはお父さんが木材を使っているのを見て、手伝いをしたらとても楽しかったので、わたしの夢は大工になることです。大工になる夢はお兄ちゃんと同じで、二人で大工になりたいです。

そのために、木を上手に切ったり、ペンキぬりを上手にできるようになったりして家を造りたいです。そして、いすや机、たなやいろいろな物を作り、それを必要としている人を喜ばせたいです。大工になる夢に向かってがんばりたいです。

(6年 神田 玲那)

わたしの将来の夢は、パティシエになることです。

わたしは、おかしを作るのが好きで、よく家でクッキーなどを作ります。完成したものを家族に食べてもらおうと、みんな喜んでくれます。みんなが笑顔になると、わたしも笑顔になって、『また作って食べてもらいたいな。』という気持ちになります。

だからわたしはパティシエになって、クッキーの他にもケーキなどを買いに来てくれる人たちに、たくさん笑顔になってほしいです。

そんな将来の夢をかなえるために、おかし作りをもっと勉強して、今よりもっと上手におかしを作ることができるようになりたいです。

(6年 北川 美姫)

ぼくの夢は、消防士になることです。

小学校1年生のころに、近所で火事がありました。その時に消防車がすぐにやってきて、火事を消していました。消防隊の人達が、くるくる巻かれたホースをすばやく広げて水を出し、てきぱきと火を消していました。その時ぼくは、消防士さんはカッコいいと思いました。

4年生の時に、消防署へ社会見学に行きました。見学では、消防士さんの服を着せてもらいました。ぼくは、とてもうれしかったです。訓練をする部屋が大変そうに見えましたが、火を消したり人を助けたりするためには、訓練は大切だと思いました。

消防士さんは大変だけれど、あこがれの仕事で、ぼくの夢です。

(6年 田中 孝作)